

2023年12月21日 第480号

# 憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター  
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)  
<http://www.kyodo-center.jp> mail: [move@zenroren.gr.jp](mailto:move@zenroren.gr.jp)

**辺野古「代執行訴訟」 不当判決に抗議！ 民意を踏みにじるな！**

**官邸前行動に250人 普天間閉鎖、埋立て阻止にむけ全国から運動を！**



米軍普天間飛行場の辺野古への移転計画をめぐり、国が新たな区域の埋立てに必要な設計変更を県に代わって承認するための「代執行訴訟」で、福岡高裁那覇支部は12月20日、国の訴えを認め県に25日までに承認するよう命じる不当判決を出しました。これを受け、総がかり行動実行委員会と「止めよう！辺野古埋立て」国会包囲実行委員会は20日夜、「沖縄の民意と地方自治を踏みにじる代執行を許さない！12・20 官邸前行動」を行い250人が参加しました。社民党の福島みずほ参議院議員、日本共産党の山添拓参議院議員、立憲民主党の小西洋之参議院議員があいさつ。沖縄の風のメッセージが紹介されました。

## 軟弱地盤や環境破壊を検討せず

安保破棄中央実行委員会の東森英男事務局長が主催者あいさつ。はじめに、これ以上の基地負担を拒否する沖縄の民意と、国と対等とされている地方自治体の権利を蹂躪する岸田政権と今回の不当判決に対し強く抗議しました。

そして、「玉城知事が設計変更を不承認とした、軟弱地盤が90mある中、70mまでしか工事ができない問題や、環境破壊の問題など、内容については全く検討していない。

政府の施策を追認したものであり、司法の役割を放棄したもの」と批判しました。

## 玉城知事を支え、激励しよう

最後に「工事完成の展望もなく、完成後に崩落の危険が指摘され、政府の言う『普天間基地の危険性除去』につながらない。費用も当初の計画も大幅に上回るものであり、断じて容認できない。最も大事なことは、沖縄の民意を踏まえて、設計変更の承認を拒否し辺野古新基地反対を貫く玉城沖縄県知事を支え、激励すること。そのため、戦争国家づくりを進める金権腐敗の自民党政権を倒すたかいと結んで、辺野古新基地阻止、普天間基地の即時閉鎖と返還に向けての運動をさらに強めることが重要」と訴えました。

